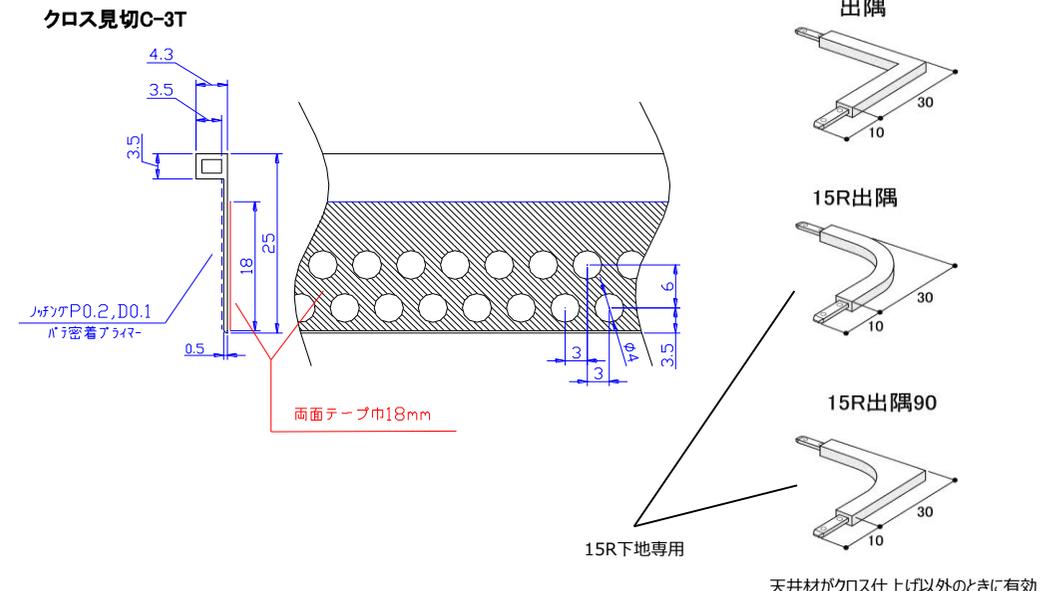


設計 施工 資料	内装建材	樹脂製化粧見切
	見切・目地	高意匠天井/壁 見切り クロス見切 C-3T

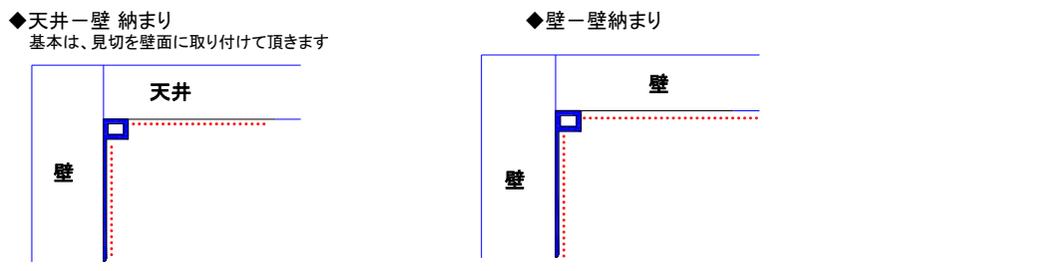
■設計施工時の注意

本製品は屋内の壁・天井見切りです
！注意
 ●本製品は屋内の壁・天井用の見切り材です。それ以外の目的には使用しないでください
 ●使用の範囲：天井・壁の取合い、壁の入隅
 ●冬場に本製品を施工する際には、室温が5℃以上となるようにしてください
 ●本製品の在庫保管や施工時の一時保管の場合は、雨や直射日光の当たらないところに平置きで保管してください

■製品図



■基本納まり図



※天井施工の場合、出隅は使用はできません
 (本体と出隅の断面形状がズレてしまうため)

■施工要領

①壁・天井の下地を綺麗にする
 石膏ボードの切粉や埃など、下地の汚れを拭取ってください
 見切り材の下地への密着度に影響します ※合板下地にも対応可能です



ポイント！切粉
 少々湿り気のある雑巾
 で汚れを除去して下さい

②長さを切断する
 カッターもしくは手鋸にて切断してください
 ※樹脂切断用のハサミはNGです(切断時に見付をつぶしてしまう為)



ポイント！切断
 見付をつぶさないように
 注意して切断して下さい



入隅コーナー部の見付は突付けでOK
 ※45° カットまでは必要なし

③下地へ貼付け
 裏面の両面テープで仮止めします
 ※テープの剥離紙は、見切の位置を合せた上で、引き抜き、見切を貼付けてください



※出隅部材の取付けについて
 本体見切の中空小口部に**コークボント**注入の上
 出隅部材の足を差し込んで取付けます

中空小口に
コークボント
 (外れ防止)

④パテ処理
 下地材の段差を隠すため、パテを入れてください
 最低でも2回(下パテ・仕上げパテ)、段差が出る場合は3回パテ処理してください



見付に付着したパテは、**クロス貼り後**に、濡れスポンジで除去してください

⑤クロス貼り
 クロスは見切りを定木にして切断してください

